日本産業技術史学会WEBジャーナル投稿規定 (平成29年４月１日改訂)

１．投稿資格

　 投稿者は学会員に限る。連名による投稿の場合、筆頭著者は学会員に限る。

1. 投稿原稿
2. 論文、研究ノート、評論、報告、資料紹介、投稿論文等に関するコメント及びリプライ、その他、の区分をもうける。独創的で、現代に社会に強いインパクトを与える研究は、論文に限らず、他の区分でも歓迎します。
3. 投稿原稿は学会ホームページのMicrosoft Wordによる専用フォーマットに記述し、またホームページの投稿票　　　　を添え、[webj-edit@jshit.org](mailto:webj-edit@jshit.org) 『技術と文明』別号(電子版)編集委員会に送付する。

３．審査料

　　無料

４．投稿原稿の採否

　原稿の審査は、『技術と文明』別号(電子版)編集委員会が行う。必要に応じて審査員を委嘱する。論文及び研究ノートの査読は従来通りとするが、それ以外については緩やかな査読とする。採否の通知は投稿票に記載されたメールアドレスに行う。

５．公開

　特に発行回数を定めず、できるだけ迅速に随時発行する。WEBジャーナルには、巻番号、コード番号、頁番号をつける。

６．執筆要領

1. 学会ホームページに掲載されているA4サイズのフォーマットを使用し、論文本文については１頁あたり26文字×50行の２段組として、タイトルや要旨などを含めて最大14頁とする。原稿には通し番号を入れる。
2. 使用言語は日本語と英語とする。英文Abstract(フォントはTimes New Roman)は必ずネイティブのチェックを経たものとし、200 words以内とする。
3. Keyword(s) は日本語の原稿の場合、日本語、英語のどちらでもよい。最大５つとする。
4. 図、表のレイアウトは投稿者に一任するが、全体のバランスを考えて処理すること。特に過度に小さな図、表は避ける。図・表をカラーにすることは差し支えない。
5. 注および参考文献は、フォーマットに示したように、本文中には上付四分の一、また最後の頁での記述は、指定の順序で記入する。英文の頁はp. pp.を付加する。
6. 年代表記は西暦を基本とし、元号を併記することも可能( 例　1930（昭和5）年)。

７．著作権

原稿に使用する写真、図版を他の文献から使用する場合、事前に許諾をうけること。映画の場面は、映画の製作会社では一切許諾に応じない。雑誌社も同じような傾向が認められる。またインターネットから無断でダウンロードしてはならない。仮に著作権に関して問題が発生した場合、当学会は一切責任を負わない。採択された原稿の著作権は学会に帰属するが、著者が使用したい場合は学会に申し出ること。